

R3年度 児童発達支援自己評価表（事業所職員向け）

令和3年度1月に行った自己評価（職員アンケート）の結果です。 アンケート回収数 9/9

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・十分なスペースがあるが、活動によってはグループ分けを行い個室を使用したり、机や椅子の配置を変え活動の領域を広げている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・必要な数が配置されており、状況に応じて声掛けを行い対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・絵カードやタイムスケジュールなど視覚支援を活用しつつ、利用者に伝わりやすい情報伝達を心がけている。マットやカラーテープを使用し、必要に応じて活動の区域分けを行っている。 ・事業所全体が死角が少ない構造となっているが、利用者全員の動きがよく見えるよう職員間で声掛けを行いながら、立ち位置を工夫している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・人体に無害な「次亜塩素酸水」を用いて消毒、消臭を行いつつ、常時換気を行っている。また今年度より高性能空気清浄機も導入し、清潔で安全に過ごせる環境を整えている。 ・個室をお昼寝部屋としても使用しているが、お昼寝が必要な利用者が多い日などは、密になりやすいため、別室も使うなどして対応している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・朝礼でその日の活動のねらいや申し送り事項の確認を行っている。勤務時間が異なるため、全員集まったの振り返りが難しいため、申し送りノートを活用している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○		・今年度開所したため、初の自己評価であり、今度保護者の意向をふまえ支援内容の見直しを行っている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		・評価結果を踏まえ、支援内容を見直し、ホームページ内で情報公開を行っている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・現在、第三者による外部評価を行ってはいない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・研修に関して年間スケジュールを立て機会の確保を行っているが、コロナ禍もあり開催が見送られる研修が多かった。現在はオンライン等での研修に積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・面談や担当者会議、日々の連絡帳などで意向等を確認し、児童発達支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		面談の際に、アセスメントシートを使用し聞き取りを行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・発達支援、家族支援、地域支援の中より必要な内容を設定の上支援している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・職員全員で共有を行い、支援計画に沿った支援を意識して取り組んでいる。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・活動案を持ち寄って週案を作成している。朝礼でその日の活動のねらいや注意点の共有を行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節や子どもたちに合わせた活動を心がけている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・集団の中での療育を軸とした支援計画を立案しているが、必要に応じて個別での個別や小集団での活動を取り入れている。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼の中で活動のねらいや注意点の確認を行うとともに、朝礼に参加していない職員も情報共有が行えるよう週案の掲示や申し送りノートの活用を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・全職員で振り返りを行うことが難しいため、申し送りノートを活用している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日々の様子を個別の提供記録を活用し記録を行い、定期的なモニタリングの際に支援計画に対しての経過を観察し、支援の検証や改善につなげている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的にモニタリングや担当者会議を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、会議内容を全職員が共有できるようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて連絡を取る場合もある。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保護者・幼稚園等の意向を伺い、必要に応じて引き継ぎシートなどを活用し情報共有を行っている。また、必要に応じて幼稚園・保育園に訪問や電話連絡を行っている。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・小学校へ安心して過ごせるよう、引き継ぎシートなどを活用し情報共有を行っている。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・担当者会議などで併用児童の情報共有や支援内容のすり合わせを行っている。 ・おひさま他事業所と支援内容の相談や助言を受ける場を設けている。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・今後感染症の状況等ふまえて検討していきたい。
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等に積極的に参加しているか	○		・今後感染症の状況等ふまえて検討していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○		・送迎時や写真付きの連絡帳を通して活動の様子をお伝えしている。今後も様子や課題等、共通理解が行えるよう努めていく。
	㉙	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	○		・担当者会議や連絡帳などを通して随時相談等は受け入れているが、ペアレントトレーニング等の支援は実施が難しい現状もある。より密に対応方法の共有を行っていきたい。
	保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉑		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・計画を作成し、同意を得ている。
㉒		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・担当者会議や連絡帳を通して、随時相談等を受け入れる体制を整えている。
㉓		父母の会の活動の支援したり、保護者会等の開催する等により保護者同士の連携が支援しているか	○		・今後感染症の状況等ふまえて検討していきたい。
㉔		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・申し入れがあった場合、電話連絡や個別での面談など迅速に対応できるよう心掛けている。
㉕		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・日々の連絡帳を通して、活動内容の報告や必要に応じてお知らせを配布している。
㉖		個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・契約時に“個人情報の取り扱いに関する同意書”をいただいている。 ・個人情報に関する書類は全て鍵付きの書庫内に保管している。
㉗		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもや保護者の気持ちに寄り添い、必要に応じて絵カードなどの視覚支援を用いてお伝えしております。
㉘		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・今後感染症の状況等ふまえて検討していきたい。

非常時の対応	③9	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	・マニュアルを作成し、全職員で回覧を行っている。定期的に避難訓練などを実施しているが保護者への周知方法を検討していきたい。
	④0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	○	・絵本や紙芝居を通して災害時の対応をお伝えしつつ、定期的に避難訓練等を行っている。
	④1	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	・アセスメントシートを活用し、保護者への聞き取りや全職員への周知を行っている。必要な場合は”てんかん時”や”痙攣発作時”などの同意書をいただいている。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	・アセスメントシートを活用し、保護者への聞き取りや全職員への周知を行っている。食後の掃除や消毒を徹底して行っている。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	・おひさま全事業所間でヒヤリハット報告書を共有し、全職員で回覧を行っている。
	④4	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	・外部研修に参加及び職員間での話し合いをしている。
	④5	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	・原則、身体拘束は行っていないが、今後やむを得ず必要な場合のために身体拘束に関する同意書を作成している。今後、必要な場合は事前に同意を得た上で行う。